

きずな深まる 親子ふれあい活動

谷川小学校では、九月の中旬に「親子ふれあい活動」が行われているよ。先生が講師になって、「牛乳パックを使った小物づくり」や「葉脈のしおりづくり」「染め物遊び」など、6つの講座を開くんだ。子どもたちはその中から、好きな講座を1つ選ぶ。PTAのお父さん、お母さんもたくさん参加して、親子でさまざまな体験を楽しんだよ。

「火おこし体験」では、昔の人と同じように、はずみ車を使って火種づくりにチャレンジ。

「全然つかないや。」

「火をつけるって、むずかしい……。」

なかなか火種ができずに、大苦戦する子どもたち。中には、手の皮がむけてしまった子も。そんなとき頼りになるのは、やっぱりお父さんたちだ。

「ほら、しっかり木にあてて回せば、黒くなるよ。」

「ほんとか、煙が出てきた。」

親子で協力しながら、なんとか火種をつくることができたんだ。火がついた時には、大きな歓声があがっていたよ。

「お父さんやお母さんと一緒だと、上手にできるね。」

体験のあとは、子どもたちからこんな言葉も。親子でたっぷり交流して、きずなもいっそう深まったみたいだね。



「すごい！もう少しだね。」火おこし体験では、お父さんが大活躍。



「きれいな色がついたね。」染め物遊びでは、布をブドウやタマネギの汁で染める。

牛乳パックでペン立てを作るのよ。包装紙を貼れば、素敵な小物入れのできあがり！



葉脈のしおり作り。ヒイラギの葉を薬品で柔らかくし、歯ブラシでたたいて皮をとる。

